

# パートナー

2026  
vol.27  
令和8年2月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

産婦人科／分娩部／泌尿器科／薬剤部



# 山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

## 産婦人科

Obstetrics and Gynecology

私たち山梨大学産婦人科は、妊娠・分娩、不妊治療、婦人科の病気、女性の健康に関するさまざまなお悩みまで、すべての女性の一生に寄り添うシームレスな医療を提供

しています。

婦人科がんの専門的な治療や子宮内膜症の専門診療、体への負担が少ない腹腔鏡手術・ロボット支援手術・

子宮鏡手術をはじめ、体外受精・顕微授精などの不妊治療、将来の妊娠を大切に考えた妊孕性温存、出生前診断や遺伝カウンセリングにも対応しています。さらに、胎児超音波による妊娠中の詳し



い検査や合併症を伴う妊娠の管理、思春期の月経トラブルから更年期以降の体調変化まで、幅広くご相談いただけます。

山梨県唯一の大学病院産婦人科として、院内の専門医と連携するとともに、皆さまの身近なクリニックや地域の病院と緊密に協力し、必要な医療を必要ときに安心して受けられる体制づくりに力を入れています。これからも皆さまに寄り添う良きパートナーとして、質の高い医療の提供に努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 分娩部

Labor and Delivery Department

山梨大学医学部附属病院の分娩部の特徴は、糖尿病や心疾患など妊娠前からの合併症や、前置・低置胎盤や胎児先天異常などの異常妊娠に代表される、いわゆる「ハイリスク妊娠および分娩」に対応していることです。

中でも力を入れているのが、帝王切開時に大出血のリスクを伴う「前置胎盤」の症例で、県内外の医療機関か



ら多くの紹介を受けています。特に、胎盤が子宮に癒着して剥離困難な「前置癒着胎盤」の症例では、放射線科と連携し、子宮を栄養する動脈の血流を一時的に遮断して手術を行う工夫(interventional radiology : IVR)を取り入れています。

また、遺伝子疾患診療センターと協同し、周産期遺伝カウンセリングおよび出生前診断、着床前診断を行っています。出生前診断は、母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査(noninvasive prenatal genetic testing : NIPT)や、羊水染色体検査(通常のG分染法に加え、マイクロアレイ法を施行。)が挙げられます。着床前診断は、体外で受精させた胚の染色体や遺伝子の検査を行い、病気を有しない可能性の高い胚を選択し、子宮に移植して育てます。

さらに、妊娠中に高血圧および全身の臓器障害を及ぼす「妊娠高血圧腎症」を妊娠初期に予知する研究等も開始し、「ハイリスク妊娠や分娩」の方が母児ともに無事にお産を終えて退院できるように、安全な分娩を第一の目標として日々診療に臨んでおります。

## 泌尿器科

Department of Urology

人生100年時代と言われる現在、小児から高齢者まで幅広い泌尿器科疾患に対する診療は、重要であると考えています。当院泌尿器科は、山梨県唯一の大学病院として、

泌尿器がん治療、腎移植を含む腎不全医療、下部尿路機能障害、小児・女性泌尿器疾患、男性不妊症・性機能障害など、泌尿器科全般にわたる治療を行っています。

泌尿器手術では、2013年に低侵襲のロボット支援手術を導入し、現在では保険適用となるすべての術式に対応しており、施行数は、国内トップクラスの実績を有しています。手術以外では、泌尿器がんに対する最新の薬物療法や放射線治療など、患者さん一人ひとりに最も適した治療法を選択し、幅広い集学的治療を実践しています。下部尿路機能障害については、尿流動態検査を施行し、保存的治療に加えて前立腺

肥大症手術、腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱に対する手術なども行っています。小児泌尿器科では、停留精巣、膀胱尿管逆流、尿道下裂などの各種先天性疾患に対する治療が可能です。腎不全医療では透析治療に加えて、県内で唯一の腎移植認定施設として腎移植も積極的に取り組んでいます。また、男性不妊症については、当院産婦人科の協力のもと、顕微鏡下精巣内精子採取術を行っております。

こうした取り組みにより、山梨県の医療における皆となるべく、今後も最先端の治療をお届けできる環境づくりに努めていきたいと考えています。



## 薬剤部

Department of Pharmacy

革新的な新薬は、作用機序に新規性がある一方で、予期せぬ副作用が生じる可能性があり、より慎重な経過観察が求められます。患者さんの状態変化や副作用を早期に発見し、

薬剤による有害事象を未然に防ぐためには、医療機関内だけでなく、地域薬局との密な連携が不可欠です。当院薬剤部では、院外処方箋に臨床検査データを添付し、薬局薬剤師と安全性に関する情報を共有することで、地域全体で切れ目なく見守る体制づくりに取り組んでいます。

また、薬剤師一人ひとりが幅広い知識と実践力を身につけられるよう、教育体制の充実にも力を入れ、計画的な知識・技能習得のための新人教育プログラムを導入し、基礎から段階的に成長できる環境を整えています。さらに、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設、JASPOがん診療病院連携研修認定病院、JSPEN NST認定教育施設および日本医療薬学会など主要学会の各種専門認定制度における研修施設認定を取得し、専門性

の高い薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいます。日常業務においては、互いに相談し合える風通しの良い職場環境を大切にしています。



加えて、薬剤師の地域偏在が課題となる中、当院薬剤師が地域の医療機関への出向を通じて研修を実施する体制を整備しました。病棟業務で培った知識やノウハウを出向先の医療機関に還元しながら、地域医療の質の向上に貢献するとともに、出向薬剤師自身の成長にもつなげていきたいと考えています。今後も地域の医療機関・薬局の皆さまと連携し、安心・安全な薬物療法の提供を目指してまいります。

セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第27回 山梨網膜研究会	山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2026年3月12日	オンライン 古名屋ホテル	内線 2372
第85回 山梨県眼科集談会	山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2026年4月25日	オンライン シャトレーゼホテル 談露館	内線 2372

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

● 地域とともに支える医療体制の構築に向けて ●

当院は県内で唯一の特定機能病院として、高度で専門的な医療を提供し、24時間体制で急性期の患者さんを受け入れています。症状が安定した後の継続診療については、地域の「かかりつけ医」の皆さまにお願いし、回復期から在宅へとつながる切れ目のない医療体制を整えています。

このたび、患者さんが転院・退院後も安心して療養を続けられるよう、情報発信の一環として院内に垂れ幕を設置しました。地域全体で支えあう医療の大切さを伝え、患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりを一層推進してまいります。

今後も地域医療の中心として、皆さまとともに質の高い医療提供体制の構築に努めてまいります。



● 「山梨健康ブレインハートフェスタ」を開催しました ●

1月25日(日)、当院の脳卒中・心臓病等総合支援センター主催で、「山梨健康ブレインハートフェスタ」をイオンモール甲府昭和にて初開催しました。

当日は、医師・コメディカルが連携し、脳卒中・心不全の啓発講演をはじめ、高血圧予防や減塩指導、AED実習、調剤体験、頸動脈エコー・片麻痺体験、体力/血圧測定、スタンプラリーなど、さまざまな企画を実施しました。多くの方がご来場くださり、脳卒中・心臓病について理解を深めていただく大変有意義な機会となりました。

